

招致国エキシビジョン報告書

(文責：五香)

日時： 2010年6月10日(木) 12:00~16:00
場所： 南アフリカ/ヨハネスブルク/サントンコンベンションセンター

出席： 犬飼委員長、小倉 FIFA 理事、田嶋 JFA 専務理事、中島招致委員/エグゼクティブダイレクター、濱口エグゼクティブアドバイザー、丸山本部長、五香チーフダイレクター、平井国際部門ダイレクター、
小西国際部門マネジャー、種蔵広報担当ダイレクター、ジーコ招致アンバサダー
※オフィシャルカメラマンとして伊藤氏が帯同

目的： FIFA より招致国に対して、FIFA 総会参加者に対するエキシビジョン機会の提供があり、日本招致委員会としてブースを出展し、オリジナルグッズを配布することで日本の招致活動を PR した。オリジナルグッズには、日本らしさを PR するために「法被」「扇子」「手ぬぐい」を採用しており、特に法被を来場者に着せて写真を撮ることで PR 素材を収集するとともに、法被を着た来場者がどんどんと増えていくことで他招致国エリアに行っても日本の PR を行ってもらおうという戦略を採用した。

内容： 出展ブース及び配布グッズは以下の通り。
・法被 ・扇子 ・手ぬぐい ・ピンバッジ ・招致ブックサマリー版(英・仏・西)



成果： FIFA 総会の終了が予定より2時間遅れたため、12:00~14:00の間は休憩の間にエキシビジョンを見に来た方々へゆっくり説明を行いながら、配布グッズを渡してPR活動を行った。日本らしいデザインであるグッズは非常に喜ばれ、招致国の中で際立つほどの人だかりができた。同時に招致ブックのサマリー版も配布し、招致提案内容への理解を深めてもらった。14:00以降は、FIFA 総会の出席者がどっとなだれ込むように来場し、特に日本のブースに人だかりができた。招致アンバサダーであるジーコ氏にご協力頂いたおかげで、FIFA 総会の出席者の注目を集めることに成功し、また犬飼委員長、小倉 FIFA 理事、田嶋専務理事をはじめとする役員の方々や FIFA 理事の写真を数多く撮影することができた。他の招致国からも「日本のやり方が一番すぐれていた」と評価された。

記録： エキシビジョン録画 DVD、写真

(報告) 資料No.1②

以上